

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会・第32回理事会議事概要

日時：2022（令和4）年12月1日（木）10時～12時 場所：沖縄県市町村自治会館

議事録署名人：藤田喜久、鹿熊信一郎

- 日時：令和4年12月1日（木）10:00～11:45
- 場所：沖縄県市町村自治会館 4階 第4会議室
- 出席者：
（役員）中野義勝、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、鹿熊信一郎、一般財団法人沖縄県環境科学センター（長田智史）、藤田喜久、沖縄県自然保護課（出井航）、WWF ジャパン（佐々木小枝）
（新役員）中野義勝、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田稔）、鹿熊信一郎、一般財団法人沖縄環境科学センター（長田智史）、藤田喜久、沖縄県自然保護課（出井航）、WWF ジャパン（佐々木小枝）、エコツーリズム・環境教育ふくみみ（大堀健司）、小菅陽子、案納昭則、しかたに自然案内（鹿谷麻夕）
- 委任状：沖縄県立博物館・美術館、有限会社コーラスクエスト、環境省沖縄奄美自然環境事務所、山野博哉、木村匡、日本サンゴ礁学会
- 運営委員：一般財団法人沖縄県環境科学センター（山川英治）
- 事務局：沖縄県自然保護課（大城一幸）
- 議事録署名人：鹿熊信一郎、藤田喜久

理事会を構成する会長、副会長、理事、事務局の20名中、7名の出席者及び5名の委任状により、成立要件である理事会の過半数を満たしたので成立、内容を協議し決定した。

【アンダーライン部分が理事会での決定事項】

【「・」は説明事項および提言事項】

【「→」は説明事項や提言事項に対する意見】

【選挙結果】

会長：中野義勝

理事：安部真理子、案納昭則、沖縄県衛生環境研究所、一般財団法人沖縄県環境科学センター、沖縄県自然保護課、沖縄県立博物館・美術館、沖縄リーフチェック研究会、鹿熊信一郎、環境省沖縄奄美自然環境事務所、有限会社コーラルクエスト、WWF ジャパン、日本サンゴ礁学会、藤田喜久、小菅陽子、八重山サンゴ礁保全協議会、しかたに自然案内、エコツーリズム・環境教育ふくみみ、山野博哉

・出席者自己紹介

【役員人事】

会長：中野義勝

副会長：八重山サンゴ礁保全協議会（吉田）

監査役：中村崇（琉大）、田代豊（名桜大）

（運営委員会）委員長：中野義勝（会長兼任）、委員：八重山サンゴ礁保全協議会（吉田）、藤田喜久、（一財）沖縄県環境科学センター（山川・長田）、沖縄県自然保護課（大城）

- ・木村匡、渡嘉敷ダイビング協会（平田春吉）、宮古島マリリゾート協同組合（新村一広）は退任

（企画委員会）委員長：鹿熊信一郎、委員：WWF ジャパン（佐々木）、八重山サンゴ礁保全協議会（吉田）、有限会社コーラスクエスト（岡地）、藤田喜久、案納昭則

（広報委員会）委員長：しかたに自然案内（鹿谷）、委員：エコツーリズム・環境教育ふくみみ（大堀）、小菅陽子、沖縄リーフチェック（委員長から安部真理子さんへ要相談・確認）

- ・サンゴ礁ウィークの広報等がメイン、SNS が活用できる人がよい。

（選挙管理委員会）委員長：案納昭則

（法人化委員会）委員長：不在、委員：案納昭則、小菅陽子

- ・法人化委員会を運営員会に統合し法人化委員会を廃止し、運営委員会の WG としてはどうか。ただし、委員会の改廃は総会での承認が必要。

【ワーキンググループ（WG）】

- ・WG には理事以外も入ることができる。
- ・法人化委員会を WG にし、アラムコ移植事業 WG（委員長鹿熊信一郎、養殖移植 WG に変えるか要名称確認）、サンゴ礁ウィーク WG と合わせて運営委員会に紐づけたい。
- ・委員会へ紐づけると意思決定が遅くならないか危惧される。

【サンゴ礁ウィーク】

- ・企画委員会（鹿熊委員長）と広報委員会（鹿谷委員長）でワーキンググループを立ち上げ、そこで内容を検討する。
- ・イメージコンテストを開催し空港写真展へもつなげる。
- ・2023 年 3 月 5 日は日曜日。
- ・事務委託を依頼していたキュリオス沖縄は今後の委託は難しい。

【ジュニアサンゴレンジャー】

- ・今年度は実施しない。

【総会】

- ・各議事に対して追加承認を得る。

【寄付】

- ・日本百貨店協会 50 万円
- ・飯野海運 17.6 万円

【その他】

- ・宮古や慶良間の役員がいない、会員数は現在 100 人を 300～500 にすることを目標としたい。
- ・ウェブ会議を定例としたい。
- ・衛研、県博、リーフチェック研、MOE 沖縄奄美、JCRS の窓口（担当者）を確認するとともに、票が 2 重になることへも対応が必要。

以上